

■釘打複合・無垢(一般用)

【複合】 ●ノルディック ●プレミアムワイド(釘打タイプ) ●ワンハーフスレンダー ●ランバーキッド※

- マニュジャパンシリーズ(床材) ●あらいだしPARTII(PAタイプ) ●オークライブラリー 年輪
- プレミアムヘリンボーン※ ●プレミアムフレンチヘリンボーン※
- プレミアムデザインパーケット ●プレミアムモザイクアートフロアー ●ウッドキャスト ●ワイルドスタンダード

【無垢】 ●グレイン無垢スレンダー ●マニュジャパンスギ・ヒノキWPC ●ワイルド無垢ナラ ●ワイルド無垢ナラMoreWild

- グレイン無垢ナラ ●バンブーフローリング ●インポートマテリス ●インポートマテリス ノスタルジー(釘打タイプ)※
- インポートマテリスヘリンボーン※ ●ヴァロン ●マニュジャパン国産材フローリング ●パスポートフロアー
- カントリーフロアー ●ペットコートフロアー

■施工前に

- ◆製品の品番、数量に誤りが無いか、また損傷が無いかご確認ください。
- ◆製品の保管には充分ご注意ください。雨ざらし、直射日光の当たる場所は避けてください。また、立てかけたりせず、室内の平滑な場所に保管してください。その際直接床面には置かないでください。
- ◆製品に極端な不具合がありましたら、お手数をおかけいたしますが施工前にお買い求め店、または当社までお申し出ください。施工後のお申し出には応じかねます。

■下地条件

- ◆床下の換気を充分に行えるように、換気口を設けてください。床下換気口の位置と数は建築基準法施行令に従ってください。
- ◆下地は根太表面をプレーナー仕上げした乾燥材(含水率14%程度)を使用してください。生木を使用したり、下地材が湿気を含んでいると、床材の反り、隙、突き上げの原因になります。(コンクリート、モルタル下地の含水率は10%以下にしてください。)
- ◆地形や地質による下地からの水分(湿気)には充分ご配慮ください。多湿な場所への施工は床下の防湿処理を充分に行ってください。
- ◆凸凹、段差は下地補修剤にて修正し、不陸は1mあたり3mm以内であることを確認してください。(石膏系のセルフレベルーは使用しないでください。接着不良の原因となります。)
- ◆必ず12mm以上の合板(含水率14%以下)を捨貼りしてください。この場合、床鳴り、目違いが無いように注意してください。
- ◆施工面に木ズやホコリ、油・水分等がある場合には充分に除去、清掃してください。接着不良の原因となります。

■接着剤

- ◆エポキシ樹脂接着剤(2液混合タイプ)を必ずご使用ください。推奨接着剤以外をご使用になりますと、床鳴りや接着不良などの原因となります。
【推奨品/コニシ(株):E-350R・アイカ工業(株):JB-63N(もしくは同等品)】
- ◆主剤と硬化剤を1:1に混ぜ、充分に攪拌してください。尚、塗布量、作業温度範囲、オープンタイム、貼り付け可能時間については各接着剤メーカーの施工説明書に従ってください。
- ◆上記品名欄の●印の付いた製品は、ウレタン樹脂接着剤(1液ウレタンタイプ)もご使用になれます。
【推奨品/コニシ(株):KU-928R(もしくは同等品)】
- ◆塗布量、作業温度範囲、オープンタイム、貼り付け可能時間については各接着剤メーカーの施工説明書に従ってください。

■施工手順

- ◆天然木を使用しているため、色や木目に特有の違いがあります。施工前に必ず仮並べをして、色柄のバランスをご確認していただくこと仕上がりが更に美しくなります。
- ◆万が一、床材表面に損傷や塗装の不良等ございましたら、お手数をおかけいたしますが施工前にお買い求め店、または当社までお申し出ください。施工後のお申し出には応じかねます。

- ◆床材が膨張し、突き上げが生じる恐れがあるため、壁面との間に複合タイプの場合3mm程度、無垢タイプの場合5~10mm程度隙間をあけてください。またこれを隠すため中木を後付けしてください。

- ◆施工は推奨接着剤と釘の併用で行ってください。釘については、下地が根太に12mm以上の合板を捨貼している場合と乾式二重床の上に12mm以上の合板を捨貼している場合は、フロアネイル(38mm以上)またはフロアステーブル(38mm以上)を使用し、釘打ち角度は45度を基本としてください。フィニッシュネイル、ブラッドネイル(針釘)、通常の釘類は使用しないでください。尚、コンクリートやモルタル下地に直接の12mm以上の合板を捨貼している場合は、フローリングの厚さや下地の状態に適した長さのフロアネイルまたはフロアステーブルを選択してください。

- ◆下地確認後、接着剤を専用クシ目ゴテで下地全面に塗布し、施工の際は絶対に足で蹴り込んだり、無理に叩き込んだりしないでください。長手方向のジョイント部は0.4mm程度隙間をあけて、300mmピッチでオス実部に釘を打ち、短手方向のジョイント部は0.2mm程度の隙間をあけて、オス実部に釘を打ち施工してください。また、120mm巾以上の商品については短手オス実部に2箇所以上釘を打ち施工してください。ワンハーフスレンダーは55mm巾が5つ結合した商品になりますので、それぞれの短手オス実部に1箇所(計5箇所)釘を打ち施工してください。

- ◆接着剤が床材の表面に付着した場合は、直ちにウエスで拭き取ってください。

- ◆基本的な貼り方は乱貼りになります。これ以外につきましてはご相談ください。

- ※プレミアムヘリンボーン、プレミアムフレンチヘリンボーン、ランバーキッドヘリンボーンタイプ、インポートマテリスノスタルジーヘリンボーンタイプ、インポートマテリスヘリンボーンの貼り方についてはヘリンボーンの貼り方(205ページ)をご参照ください。

■養生

- ◆施工後は傷や汚れ、紫外線による変色、石膏ボードの粉の入り込みなどから表面を守るため、隙間なく養生シート・養生ボードで養生してください。

- ◆表面の木ズやホコリは充分に除去して、床面全体を覆い隠してください。露出している箇所があると、直射日光や紫外線等によって変色し、覆い隠している部分との色違いが生じます。

- ◆養生には必ず弱粘性の床用養生テープを使用してください。

(日東電工(株)No.395N同等品)

- ◆塗膜・単板剥がれの原因になりますので、1週間以上のご使用は避けてください。止むを得ずそれ以上の期間使用する場合は、マスキングテープを貼りその上に養生テープを貼ってください。

- ◆養生テープを剥がす際には、床材表面の塗膜を損傷する恐れがありますので、ゆっくりと剥がしてください。

- ◆養生テープは粘着剤を使用しているため、テープの上に重量物を載せたり、繰り返し歩行した場合には、粘着力が強くなる場合がありますのでご注意ください。

- ◆無塗装品、オイル塗装品は、養生テープ、マスキングテープを直接貼らないでください。表面に粘着剤が残りに取り取れない場合があります。

■メンテナンス

- ◆メンテナンスについては206ページをご参照ください。

- ◆オイル塗装品のメンテナンスについては206ページをご参照ください。

- ◆ペットコートフロアーのメンテナンスについては207ページをご参照ください。